

グローバル COE 主催事業  
グローバルセミナー「Global Summer Lecture Series 2008」  
セミナーレポート

講演 1

日時：2008 年 7 月 10 日

場所：視聴覚ホール吹田分館

森田清三教授（大阪大学）

「Atom-by-Atom Bottom-up Nanostructuring System Based on Atomic Force Microscopy」

Dimitri Antoniadis 教授（MIT, USA）

「Technology Trends and Options for High Performance CMOS FETs at the 15-nm Generation and Beyond」

講演 2

日時：2008 年 7 月 17-18 日

場所：グランディア芦原

葛原正明教授（福井大学）

「Future Prospects of III-Nitride Semiconductor Electron Devices」

尾崎雅則教授（大阪大学）

「The Frontiers of Liquid Crystal Science and Device Technology」

谷口研二教授（大阪大学）

「Fundamental Semiconductor process/device physics」

講演 3

日時：2008 年 7 月 25 日

場所：視聴覚ホール吹田分館

八木哲也教授（大阪大学）

「A VLSI system that emulates the computation of primary visual cortical neurons」

北山研一教授（大阪大学）

「All-optical RAM-based buffer for packet switch」

概要：

グローバルセミナーとして海外から 1 名、福井大学から 1 名、本学から 5 名の先生方に電子デバイスの基礎と応用、及び最新の研究成果についてご講演いただきました。

電子材料、デバイスの基礎から、原子操作、ディスプレイ、通信ネットワーク、人工網膜デバイスにいたる幅広い最新の研究成果について詳しく説明があり、その応用と発展性についてわかりやすく説明された。

今回4回の講義に分け、広く電子デバイスの分野を網羅した講演を行ったことで、「次世代電子デバイス」の開発を目指す若手研究者の研究推進に大いに参考になったと考えられる。また、来日中の多数の外国人研究者にとっても魅力的な会議となった。参加者は必ずしも同内容を専門としている、もしくは専攻としているわけではないが、異分野の研究動向に触れる機会となり、今後参加者それぞれの研究推進に大いに参考になると考えられる。特に講演後の議論では、時間が超過するなど、活発な議論が行われた。



以上